

第3回 学校運営協議会

令和6年2月7日(水)

8:45 山崎小会議室

1 開会の言葉

2 会長あいさつ

3 学校運営について

(1) 本年度の学校教育活動の成果と課題【教務】

- ① 本年度の重点努力目標について
- ② 「特色ある学校づくり」実践報告より

(2) 学校運営の振り返りと来年度に向けて【校長】

- ① 学校評価の結果について
- ② 来年度の学校運営方針について

(3) 地域学校協働活動について【教頭】

(4) その他

4 意見交換

5 来年度の予定	【第1回】	令和6年	6月	8日(土)	8:45	山崎小会議室
	【第2回】	令和6年	11月	9日(土)	8:45	山崎小会議室
	【第3回】	令和7年	2月	5日(水)	8:45	山崎小会議室

6 閉会の言葉

本年度の学校教育活動の成果と課題

令和6年2月7日(水)

1 本年度の重点努力目標における成果と課題 (○：成果 ▲：課題)

(1) 確かな学力の定着・向上

- 学習の目標達成に向け、教員による手だての工夫のもと、多くの児童が努力をしている。
- ▲ 自分の考えを自分の言葉で表現することが苦手な児童が3割程度いる。
⇒ 教員の研修テーマを国語科の表現力に重点を置き、児童が身に付けた語彙力や表現方法を生かす場を、意図的に設定していく。※ R6は4年目

(2) 自己の生き方についての考えを深める道德教育の充実

- 思考を深める発問の仕方や板書を工夫することにより、多様な考え方に気付き、自分の考えをもつことができた児童もいた。
- ▲ 学んだことを今後の生活に生かそうとする児童の意識は低い。
⇒ 児童が日常生活と結び付けて考える場を設定し、自分のこととして考えられるように意識化を図る。

(3) たくましく生きるための健康教育の充実

- 持久走も縄跳びも学習カードにめあてを書き、運動技能のポイントを意識して取り組むことにより、多くの児童が自分の目標に向けて粘り強く運動に取り組んだ。
(学校評価アンケート【4点法】「青空タイムなど、体力づくりをがんばっている」児童：事前3.5・事後3.4)
- ▲ メディアの使用時間が長く、就寝時刻も遅い児童がいる。メディアを上手に使い、規則正しい生活をしていこうという意識が低い。
⇒ メディアが身体に与える影響について学ぶ機会を設定し、児童が問題点と捉え、改善しようという意識を高め、家庭との連携を図る。

(4) 特色ある教育活動の充実

- あたたかい学級づくりや豊かな体験活動を通して、やさしい気持ちで仲良く助け合う児童が多くいた。(学校評価アンケート【4点法】「思いやりの気持ちをもって、優しく仲良く行動するようにしている」児童：事前・事後ともに3.6)
- ▲ 未だ自ら働きかけようとする主体的な児童会活動の取組にまでは至っていない。
⇒ 児童が自ら考えて取り組めるような場(学級会や代表委員会)を設定し、指示よりも支援を中心とした活動を行っていく。

(5) 開かれた学校教育の推進

- 授業や学校行事の公開、各種たより、HP等による保護者・地域への情報発信により、家庭や地域との連携強化につながっている。

(6) 多忙化解消にかかる業務改善

- 全職員が共通理解のもと、協働して業務にあたったり、各行事等のねらいを再確認したりすることにより、学校組織の活性化・効率化につながっている。

2 「特色ある学校づくり」実践報告より(別紙)

令和5年度 学校評価資料（事前・事後比較）

R6. 2. 7

本校の教育活動について

《学校評価の保護者の記述より》

◆ よいと思うこと

- ・ 少人数だが、一人一人のことを大切にいただいていると感じている。
- ・ 校外に出て、地域社会について学ぶ機会があることはとてもよいことだと思う。
- ・ たてわり班活動等、子どもの数が少ないことをプラスに考えていてよい。
- ・ トラブルにきちんと向き合ってもらえる。
- ・ 学年関係なく、先生方（校長、教頭含め）が子どもたちを気にかけてくれている。
- ・ 朝読書や読み聞かせがよい。
- ・ 山小祭は子どもがとても楽しみにしているので、ずっと続けていってほしい。
- ・ 校外学習をしっかりと行っている。

◆ 考えてもらいたいこと

- ・ 毎年、蜂が教室に入ってくるので、対策をしてほしい。
- ・ アイデア・発想力の育成には、主体性の基礎となる知識や経験を積ませたい。
- ・ 換気は必要だが、窓を閉めてエアコンを効かせたりしてもよいのではないかな。
- ・ ブランコなど校庭の遊具を充実したものにしてほしい。
- ・ 学校を休んだとき、体調がよければリモート授業ができるとよい。
- ・ 校区運動会は打合せを含めて大変なので、なくす方向で考えていただきたい。
- ・ 持久走記録会では、学年別、男女別で順位を結果発表し、やる気を出させてほしい。
- ・ 学級通信や行事予定表は、紙で配付してもらいたい。
- ・ 夏休みの宿題が他校に比べて多いと感じる。
- ・ ホームページの更新を週に何度もする必要があるのか（教員）。

意識調査 児童・保護者・教職員の結果比較

（事前：6月 事後：12月集計）

調査項目		事前			事後		
		児童	保護者	教職員	児童	保護者	教職員
①	教育方針の公表		3.4	3.7		3.3	3.6
②	願いへの対応		3.1	3.6		3.2	3.7
③	地域連携		3.2	3.4		3.3	↗ 3.6
④	開かれた学校の実現		3.4	3.9		3.5	3.8
⑤	特色ある教育活動の実現		3.4	3.9		3.5	3.8
⑥	安心・安全の実現		3.2	3.6		↗ 3.4	3.7
⑦	楽しい学校生活	3.4	3.2	3.3	3.4	3.3	3.3
⑧	規範意識の育成	3.4	3.3	3.0	3.4	3.4	3.0
⑨	健康・安全教育の実現	3.5	3.4	3.5	3.6	3.4	↘ 3.3
⑩	豊かな心の醸成	3.6	3.2	3.3	3.6	↗ 3.4	3.3
⑪	心身の健全な育成	3.5	3.2	3.3	3.4	3.3	↗ 3.6
⑫	相談への対応	3.5	3.1	3.6	3.4	3.2	↗ 3.8
⑬	分かる・できる・楽しい授業	3.1	2.9	3.0	3.2	↗ 3.1	↗ 3.2
⑭	個に応じた指導	3.5	3.0	3.3	3.4	3.0	3.4
⑮	基礎・基本の重視	3.4	3.2	3.4	↗ 3.6	3.2	3.4
⑯	課題解決型学習の実現	3.3	3.2	3.1	3.4	3.2	3.1
⑰	読書に親しむ教育の充実	3.3	3.4	3.6	↘ 3.0	3.3	3.7
⑱	適切な評価		3.1	3.5		↗ 3.3	3.5
⑲	施設・設備の充実		2.9	2.9		3.0	3.0
⑳	安全・安心な環境		3.0	3.1		3.1	↗ 3.3
㉑	国語学習の実現	3.3	3.1	3.4	3.4	3.2	↗ 3.6
㉒	挨拶・返事	3.4	3.0	3.1	3.4	3.0	↘ 2.9
㉓	主体的な学習	3.2	3.0	3.0	↗ 3.4	3.1	↘ 2.8
㉔	認め合い	3.6	3.1	3.1	3.6	3.1	3.2
㉕	メリハリのある働き方			3.2			3.3
㉖	チームを意識した組織活動			3.8			3.9

「山崎小学校の教育」に関するアンケート調査の結果について（お知らせ）

余寒の候、保護者の皆様にはご健勝のこととお喜び申し上げます。いつも山崎小学校の教育活動にご理解とご協力をいただきましてありがとうございます。2月に入り、令和5年度もまとめの時期を迎えました。

さて、見だしのことについて、6月と12月にご協力いただきました4点方式のアンケート結果がまとまりましたので、以下にお知らせします。貴重なご意見を省察し、今後に生かせるよう努めて参ります。

1 調査の目的

本年度の「山崎小学校の教育」の目標「たくましく」「やさしく」「正しく」に対する教育活への達成状況について、6月と12月の評価を比較分析し、それを基に今後の児童の学校生活や学習活動に生かすための調査です。

2 調査の結果

※ 事前(6月)と事後(12月)の比較は、±0.2以上変容した項目を「↑」と「↓」で示しています。

3 結果の考察 【 ○：比較的よい項目 ▲：改善を要する項目 】**○ 教育活動全般について**

児童・保護者・教職員3者の各項目平均値は、「3」以上が多く、教育活動におおむね満足と言えます。

○ 「学校運営・経営」の項目

保護者・教職員ともに各項目は、「3」以上です。

特に、④「開かれた学校の取組」⑤「特色ある教育活動の取組」に対しては、保護者・教職員ともに高い評価です。今年度、「強い心と体」「認め合う仲間づくり」「学習の自立」という目標を掲げ、学校行事や学校生活の中でさまざまな取組をしてきました。その具体的な様子を各種通信やホームページなどを通して保護者及び地域の皆様に公開しています。今後も信頼される開かれた学校を目指して、保護者や地域の皆様と連携しながら一緒にお子様を育てていく努力を続けていきます。

○ 「学校生活・生活指導」の項目

児童・保護者・教職員の3者の各項目は、「3」以上です。

基本的な生活習慣や集団生活におけるルールを身に付けるとともに、豊かな心を育むさまざまな体験活動を通して心身の健康維持や体力の増進に努めてきました。⑦学校生活が「楽しい」と回答した児童の評価は「3.4」で、昨年度と変わりませんでした。一方、「楽しくない」と回答した児童については、その理由を把握し、児童に寄り添いながら改善の方策を探っています。

○ 「学習指導」の項目

児童・保護者・教職員の3者の各項目は、「3」以上です。

児童の結果⑬「分かる・できる・楽しい授業」⑭「個に応じた指導」⑮「基礎・基本の重視」から、教職員は基礎・基本な学習に力を入れ、分かる・できる・楽しい授業につなげる努力を続けています。しかし、まだ十分でない面が見られますので、一人一人の児童に寄り添い、認め励まししながら、児童が主体的に学び、課題を解決する力を育成していきます。

重点目標⑳「思考・表現活動の取組」については、国語科の学習に重点を置いて3年になります。教材の扱い方を工夫し、自分の考えを書くことや発表することに意欲的な児童の育成を目指しています。

▲ 「生活指導」について

⑨「健康・安全教育の取組」については、教職員の評価が下がっています。学校行事や各種活動がない期間も、けがの防止や基本的な感染症対策など、安全や健康への言葉がけをしています。

▲ 「学習指導」について

⑰「読書に親しむ教育の充実」では、児童の評価が下がっています。読書離れを防ぐとともに、興味関心をもって文章を読める児童を目指し、読書の時間を設定するなど、読書環境を整えていきます。

▲ 「挨拶・返事」について

重点目標㉑「挨拶・返事」については、教職員の評価が下がっています。児童は、「挨拶」の大切さを意識し、児童会活動でも取り上げています。地域の方々や保護者の皆様からの声かけもお願いします。

▲ 「主体的な取組」について

重点目標㉒「主体的な取組」については、教職員の評価が下がっています。本校の児童は、さまざまな活動に対して自信がもてず消極的になりがちなようです。小さな成功体験を積み重ねることで、充実感や達成感が得られるような教育活動を工夫していきます。



校訓

たくましく
やさしく
正しく

学校教育目標 たくましい体 やさしい心をもち 自ら進んで学ぶ子の育成

～ 自分らしく輝く子を目指して ～

学校経営方針 少人数を生かした教育活動の展開

- ★ 主体的・対話的で深い学びを促す授業づくり
- ★ 認め合い、高め合う人間関係づくり
- ★ 体力づくりと健康教育の充実
- ★ 特色ある教育活動の充実
- ★ 開かれた学校づくりの推進

目指す学校像

- 礼儀正しく、秩序ある学校
- 子どもの笑顔が輝く学校
- 安全で安心な学校

目指す教師像

- 子どもの可能性を引き出す教師
- 使命感と責任感を自覚し、情熱に満ちた教師
- 高め合い、学び続ける教師

＜重点目標＞

- ★ 主体的に学び、自分の考えや思いを表現できる子の育成
- ★ よりよい学級・学校づくりに参画する子の育成

信頼される開かれた学校づくり

教育活動に関する情報発信（ホームページ・各種たより）
教育活動の外部評価の実施と積極的な公表

たくましい子の育成 「強い心と体」

- ◆ 目標と振り返りを通して「自己決定」へ
体力向上
 - ・ 運動量を確保した体育授業の実践
 - ・ 体力テストの結果を生かした体力づくりの実践
 - ・ 持久走大会、なわとび集会の実施
 - ・ 外遊びの奨励
- 基本的な生活習慣と規範意識の確立**
 - ・ 「山崎スタンダード」の活用
 - ・ 進んで挨拶・ちょっと前行動・無言掃除の徹底
- 健康教育の推進**
 - ・ 自己管理能力の育成
(養護・栄養教諭との T・T 授業など)
 - ・ 保護者との連携
(おたよりの発行 学校保健委員会など)
- 安全への意識を高める指導**
 - ・ 各種教室等の実施
(交通安全教室 避難訓練 情報モラル講演会 防犯教室)

やさしい子の育成 「認め合う仲間づくり」

- ◆ 「指示」から「主体」へ
あたたかい学級づくり
 - ・ 考え、議論する道徳科授業の実践
 - ・ 合意形成、意思決定を大切に学級会活動
 - ・ 一人一役による係活動、当番活動
 - ・ 子どもの声に耳を傾ける教育相談の充実
 - ・ 協働のよさを感じ、承認の機会がある授業実践
- 豊かな体験活動**
 - ・ まち探検など 地域素材を生かした探究学習
 - ・ 地域ボランティアによる読み聞かせ
 - ・ 山崎小太鼓の伝承
- 子ども主体の児童会活動**
 - ・ 主体的に計画、実践する縦割り班活動
 - ・ よりよい学校づくりを目指した委員会活動
 - ・ 子どもがつくる集会活動
 - ・ 子どもが問題解決しようとするミニ通学団会

自ら学ぶ子の育成 「学習の自立」

- ◆ 「教え」から「学び」へ
主体的・対話的で深い学びを促す授業の展開
 - ・ 体験的な学習と問題解決的な学習の導入
 - ・ ワクワクする「学習課題」「めあて」の設定
 - ・ 根拠や理由を基にした表現活動
 - ・ 考えを出し合い、捉え直す学習の徹底
 - ・ キーワードを活用して自分の言葉で「まとめ」と自分の学びを「振り返る」時間の確保
 - ・ タブレット PC による個と協働の学びの充実
- 学力保障**
 - ・ 少人数指導 T・T による指導
 - ・ ノートや学習シートへの記述の指導
 - ・ 「読むこと」のポイントを押さえた指導
 - ・ 読書タイムの設定
 - ・ 教科担任制、専科教員による専門的な指導
- 家庭学習の習慣化**
 - ・ 家庭と連携した家庭学習の推進

地域の教育資源・人材活用

ゲストティチャー 山崎ぎんなん隊
学校支援ボランティア(地域・保護者等)

コミュニケーション コラボレーション プレゼンテーション

目標が達成できるように努力する 95%以上
きまりを守るようにする 90%以上
挨拶が進んでできる 90%以上

学校が楽しい 95%以上
自分のよいところが分かる 80%以上
学級・学校づくりへの主体的な取組 80%以上

授業が分かる・できる・楽しい 90%以上
CRT 学力検査「読むこと」の得点率の向上
分からないことを調べる・聞く 90%以上

アセスメント（数値による客観的評価）に基づく PDCA サイクルによる学校運営
現職教育研修によるスキルアップ・資質向上
地域や保護者との連携・協働（学校運営協議会・PTA 活動） 幼保小の連携 小中連携

地域学校協働活動について

令和6年2月7日(水)

1 地域人材活用の現状

(1) 学習活動(行事)支援

- ① 校区探検の付き添い(1・2年)
- ② 実験田(ホタルの会)での生き物探し(2年)
- ③ ぎんなん農家での地域学習(3年)
- ④ イチョウ黄葉まつりの取材(4年)
- ⑤ 地球温暖化防止教室(5年)
- ⑥ 実験田(ホタルの会)での米作り体験(5年)
- ⑦ アイコクアルファ社会科発展学習(5年)
- ⑧ 戦争語り継ぎ手の会の平和教育(5・6年)
- ⑨ 老人クラブ友愛訪問講話(6年)
- ⑩ 体育振興会校区運動会(全学年)

(2) 学習活動以外の支援

- ① ぎんなん隊下校付き添い＝スクールガード(全学年)
- ② 読み聞かせボランティア(全学年)
- ③ 老人クラブ花いっぱい運動(全学年)
- ④ 山崎地蔵太鼓(稲沢市無形民俗文化財)の指導(全学年)

(3) P T A 活動より

- ① 山崎地区資源回収
- ② 夏休み飼育栽培活動
- ③ 朝の交通立番、通学路点検
- ④ 校区運動会
- ⑤ 校内持久走記録会交通指導

2 地域学校協働活動について ※稲沢市「地域学校協働活動推進員等研修会」資料より

(1) 地域学校協働活動とは

幅広い地域住民の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動(社会教育法第5条第2項)

(2) 地域学校協働活動推進員(コーディネーター)に期待される役割

- ① 地域や学校の実情に応じた地域学校協働活動の企画・立案
- ② 学校や地域住民、企業・団体・機関等の関係者との連絡調整
- ③ 地域ボランティアの募集・確保・育成
- ④ 地域学校協働本部の事務処理・経費処理
- ⑤ 地域住民への情報提供・助言・活動推進

(3) 地域学校協働活動推進員(コーディネーター)の具体的業務(例)

- ① 月1回は、校長とのミーティング…地域団体への依頼は校長、人探しは推進員
- ② 学校運営協議会の案内、会議の準備は、事務局長とタイアップしながら
- ③ 学校・地域の取組を一枚の構造図にまとめる
- ④ 子どもの教育・生活課題解決に向けた地域のリソースづくり(具体的行動目標)
- ⑤ 地域住民への呼びかけ、ボランティア募集や便りの作成

(4) 地域学校協働活動推進員(コーディネーター)に望まれる資質・能力

- ① 地域学校協働活動の推進に熱意と識見を有する
- ② 地域学校協働活動への深い関心と理解がある
- ③ 地域住民、団体、機関等の関係者をよく理解している
- ④ 学校の実情や教育方針への理解がある
- ⑤ 地域住民や学校、行政関係者等と協力して活動を円滑に進めることができるコミュニケーション能力があり、関係者を説得し、人を動かす力がある
- ⑥ 地域課題についての問題提起、整理、解決先の構築等を仲間と共に進めることができるファシリテート能力にたけている 等

(5) 学校運営協議会との関係性

学校運営協議会において、学校運営に関する協議のみならず学校が必要とする支援についても協議することとなったほか、地域学校協働活動推進員等の学校運営に資する活動を行う (H29 地方教育行政法)

3 学校支援ボランティアについて

- (1) 地域学校協働活動の事業開始のお知らせ【別紙1】
- (2) 学校支援ボランティア募集案内【別紙2】
- (3) 学校支援ボランティア登録申請書【別紙3】
- (4) 課題・問題点
 - ① 募集案内の発送・集約
 - ② 支援内容の企画・整理→分配
 - ③ 依頼、出欠(遅刻・急な変更等)連絡の対応
 - ④ 来校時・退校時の対応(確認)
 - ⑤ 教職員・児童へのアナウンス・説明